

地方独立行政法人京都市立病院機構年度計画における項目別評価一覧

資料 3

大項目	小項目	R5機構 自己評価	R5本市 評価案
第2 市民に対して提供するサービスに関する事項		5	4
1 市立病院が提供するサービス			
	(1) 感染症医療	A	A
	(2) 大規模災害・事故対策	A	A
	(3) 救急医療	A	B
	(4) 周産期医療	A	A
	(5) 高度専門医療	A	A
	(6) 健康長寿のまちづくりへの貢献	A	A
	(7) 小児医療	A	A
2 京北病院が提供するサービス			
	(1) 市立病院と京北病院の一体運営	A	A
	(2) 地域包括ケアの推進	A	B
	(3) 救急医療	A	A
	(4) 感染症対策の強化	A	A
	(5) 京北病院が果たす機能の在り方の検討	A	A
第3 市民に対する安心・安全で質の高い医療を提供するための取組に関する事項		4	4
1 チーム医療、多職種連携の推進		A	A
2 安全・安心な医療の提供に関する事項			
	(1) 医療安全管理体制の強化	A	A
	(2) 事故の発生及び再発防止	A	A
	(3) 臨床倫理への取組	A	A
3 医療の質及びサービスの質の向上に関する事項			
	(1) 医療の質の向上に関すること	A	A
	(2) 患者サービスの向上に関すること	A	A
4 適切な患者負担の設定		A	A
5 安全・安心で質の高い医療を提供するための施設整備の実施		B	B
第4 業務運営の改善及び効率化に関する事項		4	4
1 迅速性・柔軟性・効率性の高い運営管理体制の充実			
	(1) 迅速かつ的確な組織運営	A	A
	(2) DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	A	A
2 優秀な人材の確保・育成に関する事項			
	(1) 医療専門職の確保	A	A
	(2) 人材育成・人事評価	A	A
	(3) 職員満足度の向上	B	B
	(4) 働き方改革への対応強化	B	B
3 給与制度の構築		A	A
4 コンプライアンスの確保		A	A
5 個人情報の保護		B	B
6 戦略的な広報と分かりやすい情報の提供			
	(1) 戦略的な広報活動の展開	A	A
	(2) 医療の質や経営に関する指標の活用及び情報発信の推進	B	B
7 外国人対応の充実		B	B
8 2025年を見据えた病床機能の再構築への対応		B	B
第5 財務内容の改善に関する事項		2	2
1 経営機能の強化		A	B
2 収益的収支の向上			
	(1) 医業収益の向上と費用の効率化	C	C
	(2) 運営費負担金及び運営費交付金	A	A
3 経営改善の実施		B	B
第6 その他業務運営に関する重要事項		4	4
1 市立病院整備運営事業におけるPFI手法の活用			
	(1) 機構とSPCのパートナーシップの推進	B	B
	(2) PFI事業における点検・モニタリング、改善行動の実践	B	B
	(3) PFI事業期間満了を見据えた次期運営手法の検討	B	B
2 関係機関との連携			
	(1) 医療・保健・福祉の分野における関係機関との連携	A	A
	(2) 京都市、京都府及び大学病院その他の医療機関との連携	A	A
	(3) 医療専門職及び実習指導者の計画的な育成への積極的な協力	A	A
3 地球環境に配慮した持続可能な発展への貢献		B	B

第3期中期計画期間(実績)			
R4 評価	R3 評価	R2 評価	R1 評価
5	5	5	4
A	A	A	A
A	A	A	A
A	A	A	A
A	A	A	A
A	A	A	A
A	A	A	A
—	—	—	—
A	A	A	A
A	A	A	A
A	A	A	A
A	—	—	—
—	—	—	—
5	5	5	4
A	A	A	A
A	A	A	A
A	A	A	A
A	A	A	A
A	A	A	—
A	A	A	A
A	A	A	A
A	A	A	A
—	—	—	—
4	4	4	4
A	A	A	A
A	A	A	A
A	A	A	A
A	A	A	A
B	B	B	B
B	B	B	B
B	B	B	B
A	A	A	A
A	A	A	A
B	B	B	B
A	A	A	A
B	B	B	B
B	B	B	B
B	B	B	B
4	4	2	4
A	A	A	A
A	A	C	B
A	A	A	A
B	B	B	B
4	4	4	4
B	B	B	B
B	B	B	B
—	—	—	—
A	A	A	A
A	A	A	A
A	A	A	A
B	B	B	B

※ 第3期中期計画(令和元年度～4年度)については、第4期中期計画(令和5年～8年度)とは項目立てが一部異なっている。

年度業務実績評価基準					
大項目 評価基準	5 特筆すべき進捗状況にある	4 計画どおり進んでいる	3 おおむね計画どおり進んでいる	2 遅れている	1 重大な改善すべき事項がある
小項目 評価基準	A 十分に達成	B おおむね達成	C 達成に至っていない		

項目数	44	44
A	31	28
B	12	15
C	1	1